



YASKAWA



株主のみなさまへ

第93回 事業ご報告

平成20年3月21日▶平成21年3月20日



株式会社 安川電機

(証券コード:6506)

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社グループの当期の業績につきまして、概要をご報告いたします。

当期における経済は、上期は比較的堅調に推移いたしました。下期に入り、米国に端を発した金融危機が急激なスピードで全世界の実体経済へ深刻な影響を及ぼし、当社グループを取り巻く経営環境は一転して、かつてないほど厳しいものとなりました。

このような環境下で当社グループは、前期から投入している強い新商品をもって、強い市場、強い顧客をターゲットに営業活動を強化してまいりました。これにより上期は産業用ロボットや、アジア市場向けの売上が伸長しましたが、下期以降、当社グループの主要な顧客である自動車業界、半導体業界及び液晶業界における投資抑制の動きが顕著になったことの影響を受け、モーションコントロール、ロボットの両セグメントにおいて受注が大きく減少し、また円高の急激な進行によるマイナスの影響を強く受けました。

この結果、売上高3,502億49百万円(前期比8.4%減)、営業利益208億6百万円(同43.0%減)、経常利益200億24百万円(同43.1%減)、当期純利益68億92百万円(同65.9%減)となりました。

当社グループでは、事業内容を5つのセグメントに分けております。

各セグメント別の業績動向はつぎのとおりです。

セグメントの名称	売上高(前期比)	営業利益(前期比)
モーション コントロール	1,608億48百万円 (170億51百万円減)	117億55百万円 (96億15百万円減)
ロボット	1,141億24百万円 (94億25百万円減)	32億00百万円 (53億75百万円減)
システム エンジニアリング	467億68百万円 (37億48百万円減)	46億37百万円 (6億96百万円増)
情報	213億42百万円 (18億41百万円減)	6億16百万円 (1億95百万円増)
その他	71億66百万円 (9百万円減)	5億88百万円 (14億75百万円減)

なお、当社個別業績につきましては、売上高1,881億85百万円(前期比14.3%減)、営業利益26億60百万円(同82.9%減)、経常利益97億80百万円(同52.1%減)、当期純利益64億71百万円(同55.6%減)となりました。

以上のような業績をふまえ、期末配当につきましては1株につき6円50銭とし、さきの1株につき6円50銭の中間配当とあわせ年間で1株につき13円とさせていただきます。

平成21年度は、金融危機が与えた全世界の実体経済への深刻な影響により、顧客からの需要が低迷していることや為替動向が流動的なことなど、当社グループを取り巻く経営環境は非常に厳しい状況にあります。

このような状況に打ち勝つべく、当社グループは、

有望市場の開拓と、既存市場でのシェアを拡大するとともに、コスト低減に努めてまいります。

具体的には、以下の施策を実施してまいります。

・有望市場の開拓と既存市場でのシェア拡大

ACサーボモータ：潜在ニーズを積極的に掘り起こすとともに、需要の回復を逃さず取り込み、拡販に努めてまいります。

インバータ：品揃えを強化した新商品群により、世界的省エネルギー需要の取り込みに注力してまいります。

産業用ロボット：自動車業界での生産ライン小型車シフト対応、及び新世代ロボットの市場投入の一層の拡大を図ってまいります。

・受注促進体制の強化

社長を本部長とする営業統括部門を設置し、トップ率先の営業促進、及び潜在需要の大きな顧客に対しては事業部横断的な対応により、受注拡大を図ってまいります。

・厳しい環境に打ち勝つ新商品の発掘

市場開拓、技術開発のスピードアップと、顧客ニーズへのシステム対応力を強化してまいります。

・当社製ロボットの自社生産設備への導入拡大により、生産性向上を図るとともに、そのノウハウを活かし、顧客へのソリューション提案を強化してまいります。

・即効性のあるコスト低減を徹底して実行してまいります。また中長期的には、当社グループは“ダッシュ100”に続く新たな中期経営計画“Challenge100”を平成21年度からスタートいたしました。その基本方針は以下のとおりです。

・より使いやすく、より人に近い領域へ、人と共存するロボット市場を創造する

・グリーンエネルギー分野で、最適エネルギー変換技術により新しい価値を創造する

・既存事業は徹底した効率化と市場対応力強化で、悪環境に打ち勝つ

これらの方針に基づき、計画達成に向けた方策を展開するとともに、事業を通じ挑戦し続ける人材を育成し、新たな価値・市場の創造に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

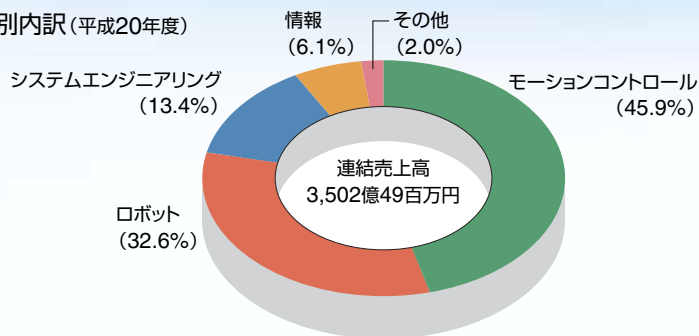


取締役社長

利島 康司

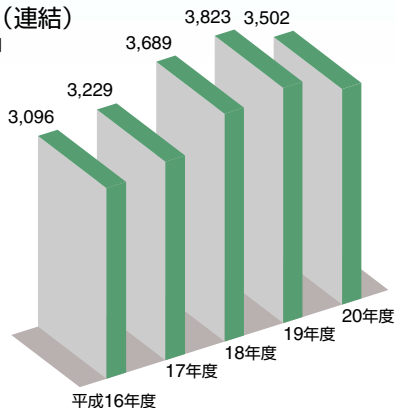
業績の推移

● 連結売上高のセグメント別内訳 (平成20年度)



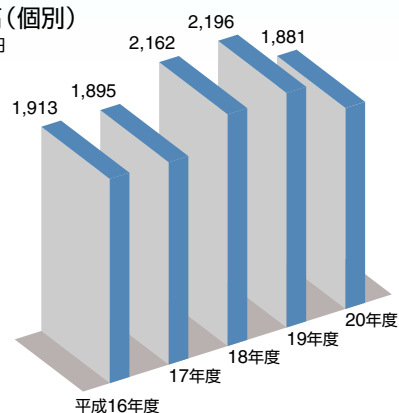
● 売上高 (連結)

単位: 億円



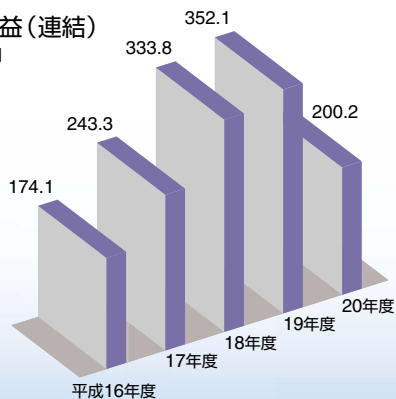
● 売上高 (個別)

単位: 億円



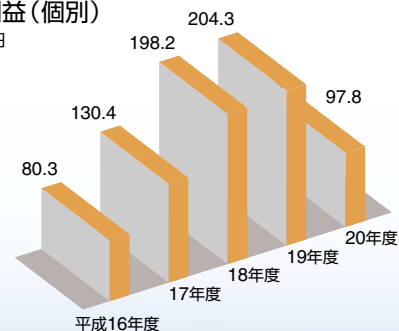
● 経常利益 (連結)

単位: 億円



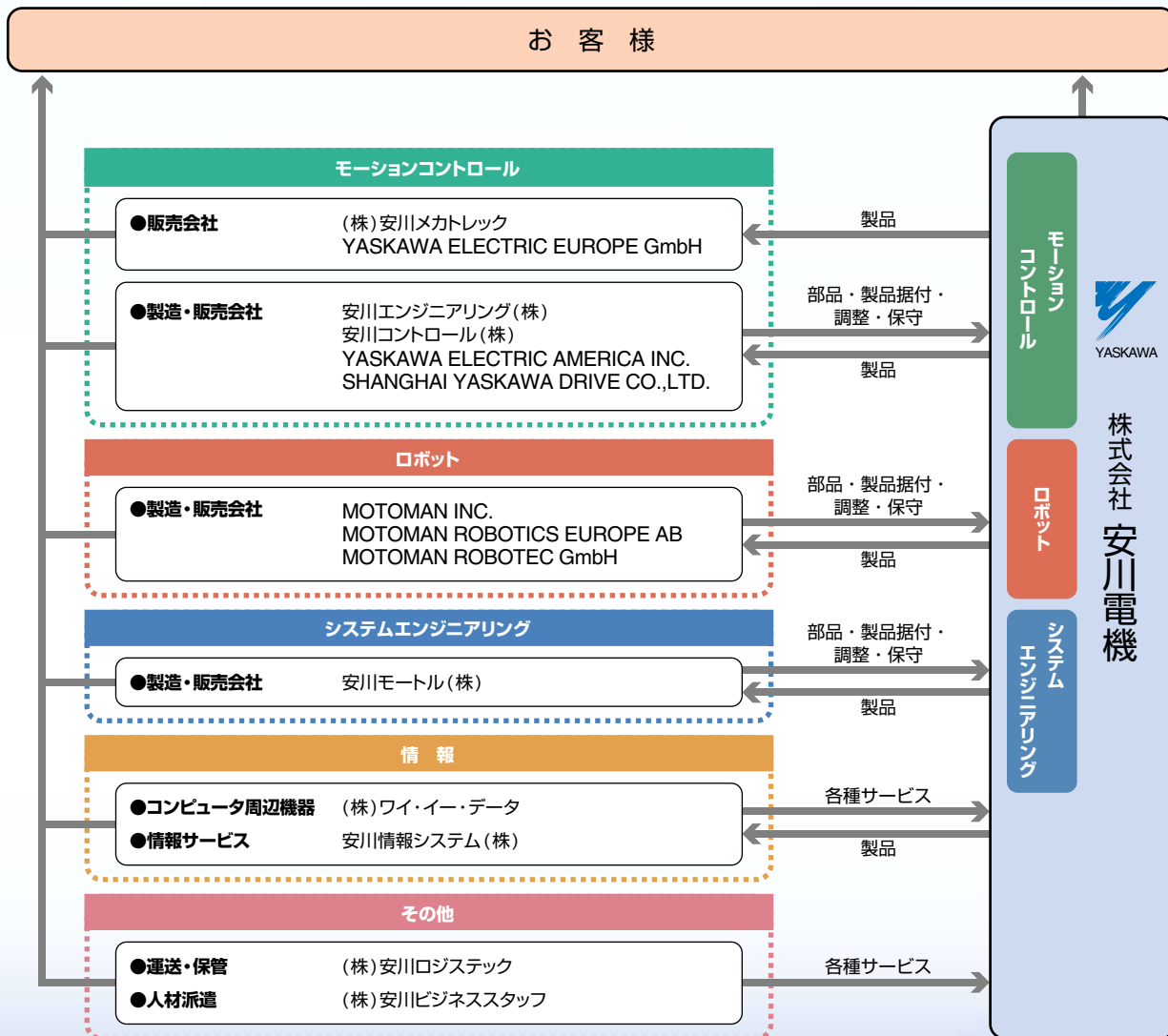
● 経常利益 (個別)

単位: 億円



当社グループの状況

当社グループは、当社を中核として子会社80社及び関連会社21社（平成21年3月20日現在）により構成され、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」「情報」「その他」の各部門の様々な分野において、製造、販売、据付、保守、エンジニアリングなどの事業展開を行っております。



(注) 上記の会社はすべて連結子会社であり、主要な会社のみ表示しています。
株式会社 ワイ・イー・データ及び安川情報システム株式会社の2社は東京証券取引所第二部に上場しています。

業績の推移／当社グループの状況

部門別の概況

モーション コントロール



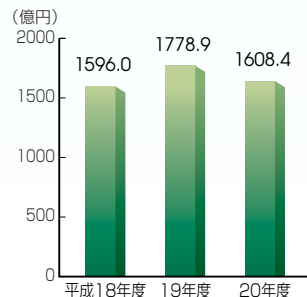
主要製品

ACサーボモータ・制御装置	高速モータ	プログラマブルコントローラ
汎用インバータ	小形精密モータ	マシンコントローラ
工作機械用AC主軸モータ・制御装置	複合モータ	NCシステム
リニアモータ・制御装置	省エネモータ・インバータ	ビジョンシステム
DCサーボモータ・制御装置	高周波インバータ	その他

ACサーボ・コントローラは、上期の前半までは電子部品業界や液晶業界向けが好調に推移しましたが、下期以降、急激な需要減退による受注の減少となりました。

また、インバータも、上期は堅調でしたが、下期に受注が減少したことから、セグメント全体では前期比で減収減益となりました。

売上高の推移



ロボット



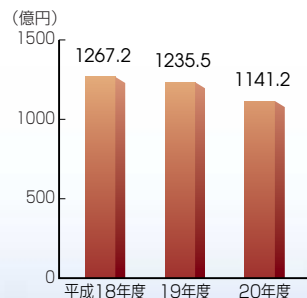
主要製品

アーク溶接ロボット	特殊アクチュエータ
スポット溶接ロボット	クリーン・真空内搬送システム
塗装ロボット	ロボット応用FAシステム
ハンドリングロボット	医療・福祉サービスロボット
半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット	その他

自動車業界向けを中心とする溶接、ハンドリングロボット等は、上期は欧州向けが好調で、液晶業界向けも、過去最高の受注を獲得しましたが、下期に入り、自動車業界や液晶業界での投資抑制・延期により受注が大きく減少しました。

加えて、半導体製造装置業界向けが、顧客の投資抑制局面が長期化したことの影響を大きく受けたこともあり、セグメント全体では前期比で減収減益となりました。

売上高の推移



システム エンジニアリング



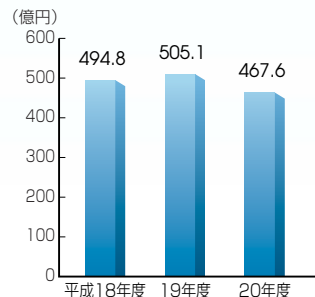
主要製品

- | | |
|------------------|------------|
| 鉄鋼プラント用電機システム | システム情報制御機器 |
| 上下水道用電気計装システム | 中容量高圧インバータ |
| 道路設備電源システム | 高圧開閉装置 |
| 環境プラント用電機システム | コントロールセンタ |
| パワーメカトロシステム | システム用制御盤 |
| 港湾荷役用クレーン制御システム | 電力用配電機器 |
| 紙・フィルム・繊維製造装置 | 永久磁石内蔵形回転機 |
| 印刷機械用可変速ドライブシステム | 中大形誘導電動機 |

- 中形発電機及び発電装置
- その他産業用回転機
- その他

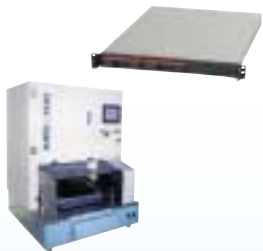
鉄鋼業界向けが概ね堅調を持続したことや、徹底した採算管理により、利益は前期に続き拡大いたしました。

売上高の推移



部門別の概況

情報・その他

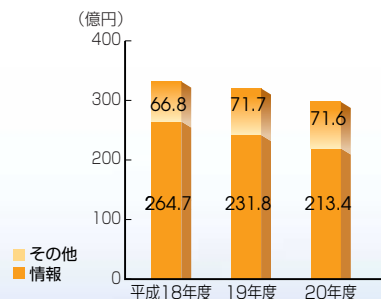


主要製品

- | | |
|------------------|------------|
| 情報 | その他 |
| フロッピーディスクドライブ | 物流サービス |
| 二次元コードマーキング・読取装置 | 人材派遣 |
| 情報処理ソフト及びサービス | その他 |
| OA機器 | |
| その他 | |

情報部門においては、売上は前期を若干下回りましたが、プロジェクト管理の改善により増益となりました。その他の部門には、物流サービス、人材派遣等の事業が含まれております。

売上高の推移



超高効率な可変速ドライブ ECOiPM用ドライブ

CO₂排出抑制のために、年間電力消費量約1兆kWh弱のうち約50%を占める電動機の高効率化が求められています。当社は「汎用インバータ」を始めとした省エネルギー機器を数多くラインアップしています。さらに今回、小容量風水力市場向けに、超高効率モータ以上の効率を発揮する同期モータとインバータV1000を組み合わせたECOiPM用ドライブを販売開始しました。

主な用途

- ビル・工場空調用などのファン
- 給水ポンプ、油圧ポンプなどの小形ポンプ

7軸スポット溶接最適化ロボット MOTOMAN-VS50

MOTOMAN-VS50は世界で初めてスポット溶接ロボットの下アーム部に7軸目を設け、ロボット姿勢の自由度を従来機種に比べて大幅に拡大しました。低い・狭い場所への進入が容易にできるため、ピット*1をなくすことが可能です。また、新開発の専用スポットガンは、小形・軽量でありながら、高い加圧力（ワークを挟み込む力）を持ち、高張力鋼板*2にも対応できます。環境車ニーズが高まり、ものづくり変革が進む自動車関連業界へ、生産工程のライン長短縮、及び生産性向上に貢献できることを強みとして、拡販を強化してまいります。

主な用途

- 自動車関連業界向けのスポット溶接用途



小形ベクトル制御
インバータ
V1000

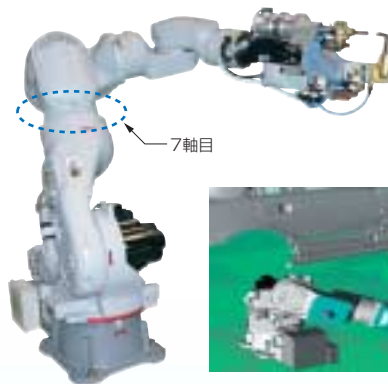
小形・高効率
センサレス同期モータ
ECOiPM

CO₂削減効果例 ～ECOiPM用ドライブを空調用ファンに使用した場合～

- ・空調用ファン：
3.7kW×100台
- ・電力1kWhに対する
CO₂排出量：
0.555kg/kWh



汎用誘導モータドライブ ECOiPM用ドライブ
CO₂排出量比較 (年間)



<用語説明>

- *1：ワーク底面や低い個所の作業を行うために、ロボットなどの生産設備を設置するために床面を掘り下げて作った穴や溝のこと。
- *2：一般的な鋼板よりも強度（引っ張り方向）を向上させた鋼板で、自動車ボディなどの鋼板を薄くでき軽量化が可能ですが、スポット溶接時には高い加圧力が必要となります。

システム用低圧インバータドライブ FSDrive-LV1HM

安定稼働が必須の鉄鋼プラントなどでは、システム用インバータドライブ装置に対して、高度な性能・機能、質の高い予防保全を確保することに加え、小形化、保守・保全の省力化、ネットワークへの対応、使いやすさなど、お客様からのご要望は多岐にわたります。

当社はこれまで蓄積したノウハウを継承し、これらのご要望にお応えしたシステム用低圧インバータドライブFSDrive-LV1HMを商品化しました。容量の異なるユニットを搭載でき、スペース効率を大きく向上(当社従来比1.5倍)しています。

主な用途

- 鉄鋼の連続鋳造設備、冷延設備、プロセスライン、荷役設備など



システムコントローラ Control Pack CP-F3000

鉄鋼プラントや上下水道プラントなどのシステム用途に、国際標準規格(IEC61131-3)に完全準拠したプログラミング機能、高性能・高機能を実現したシステムコントローラControl Pack CP-F3000を商品化し、システム販売を開始しました。プログラムの可読性・保守性が向上するとともに、標準化及び部品化が容易になります。さらに、標準化されたプログラムの再利用によりアプリケーションの品質向上と生産性向上が図れます。設備増強や更新時に、提案からアフターサービスまでのサポートと合わせて、高い信頼性を確保し、受注拡大を図ってまいります。

主な用途

- 鉄鋼プラント、上下水道プラントなどのシステム用途



安川情報システム株式会社

冗長化対応メールアプライアンスサーバ 「NetSHAKER Red-Mail」

高性能、高可用性の電子メールシステムを実現するメールアプライアンスサーバ「NetSHAKER Red-Mail」の販売を開始しました。「NetSHAKER Red-Mail」の大きな特徴は「冗長性」で、「NetSHAKER Red-Mail」が2台（プライマリサーバ、セカンダリサーバ）あれば、両サーバ間で常にデータ同期・通信状態の確認を行い、プライマリサーバに障害が発生した場合に、直ぐにセカンダリサーバがアクティブになり、ダウンしない電子メールシステムを実現します。また、プライマリサーバを復旧してネットワークに戻すと直ぐに冗長化構成が復旧し、データ同期・通信状態の確認が再開されます。（冗長化復旧の際のシステム停止はありません。）さらに、機能も充実しており簡単に設定・管理を行うことができ、しかも、安価で構築することができますので、サーバ管理、運用コストの軽減をお考えの企業様等には安心・最適なサーバです。



冗長化対応メールアプライアンスサーバ
「NetSHAKER Red-Mail」

株式会社 ワイ・イー・データ

(株)ワイディー・メカトロソリューションズを設立

(株)ワイディー・メカトロソリューションズ（略称：メカソル）を平成21年1月に設立しました。

同社は、当社のオプトメカトロニクス事業との戦略的連携を密にして、オプト&メカトロソリューションのコア事業化のスピードアップを図ります。

会社の事業概要はつぎのとおりです。（平成21年6月16日現在）

- 資本金：480百万円（(株)ワイ・イー・データ100%出資）
- 事業所：本社（埼玉県入間市）
東京営業所（東京都千代田区）
新潟事業所（新潟県見附市）
- 従業員数：83名
- 事業内容：電子部品・太陽電池等の製造検査装置の開発・設計・製造・販売



薄膜スプレー塗布装置



MLCC外部電極塗布装置
（MLCC：積層セラミックコンデンサー）

メカソル主要製品

「スマートロボティクスビル」構想の実現を目指した共同開発

「スマートロボティクスビル」構想は、ビルのインフラ技術とロボット技術を組み合わせ、多様なサービスや快適な空間の実現を目指して、清水建設株式会社と当社が要素技術の共同開発を進めているものです。例えば、受付、案内、搬送、清掃、警備など、ビル内の様々な場面でロボットが状況に応じたサービスを提供するためには、ビル内に既にある情報通信、人検知、機器制御などのインフラ技術にロボット技術を組み合わせ、ビルとロボットがうまく役割分担して協調していくことが重要です。ビル内で稼働するロボットのIDや位置も含め、ビル全体を集中管理することで、複数のロボットが広範囲で活躍できるようになります。

この構想を展開した第一弾として、「スマートショールーム」を両社内に設け、お客様のお出迎えから展示物の説明、お見送りまでを案内ロボットSmartGuide（スマートガイド）が行うという実証試験を双方で行い、インフラを活用したロボットによるサービス提供の有効性を確認しました。

今後も共同開発をさらに進め、荷物搬送、警備などへ技術を展開してまいります。



「スマートロボティクスビル」構想イメージ図



案内ロボット
「SmartGuide（スマートガイド）」

TOPICS

1

インバータ新生産システムが 「2008年日経ものづくり大賞*1」を受賞

当社のインバータ工場（福岡県行橋市）に導入した「インバータ新生産システム」が、日本経済新聞社主催の「2008年日経ものづくり大賞」を受賞しました。

本システムは、当社ロボット、FA機器を活用した新生産方式で、作業者の習熟度に関係なく、品質良く、高い生産性で安定してモノが作れるよう、機械・ヒト・ITの融合により、付加価値を最大限に高める生産方式です。

さらに本システムを海外の生産拠点にも展開し、世界中どこで作っても同じ品質、同じ生産性のものづくりを実現しました。

評価された点

- ・組立工程の65%を自動化し、旧工場に比べて生産能力を2倍に高めた点
- ・約500種類の製品を混流生産しても、安定した品質を維持できる点

*1：この賞は、日本経済活性化の原動力となる「ものづくり」の最先端の動きを取り上げ、「ものづくり」に関わる国内外の優秀な工場や研究所、そこで採用するシステムや仕組みなどを表彰するものです。

*2：Radio frequency identificationの略。ID情報を埋め込んだタグから、電磁界や電波などを用いた近距離の無線通信によってヒトやモノを識別・管理する仕組み。

新インバータ生産システムの主な特長



「製造不良ゼロ」と「生産性世界一」を目指す、フレキシブル自動組立ライン

当社産業用ロボットを活用して自動化した作業をRFID技術*2で連携し、当社のモーションコントローラ、サーボ、インバータを活用したラインで、大量生産が可能。

電子手順書を活用したインバータ組立

当社産業用ロボットによる定型作業の機械化と電子支援システムによる人手組立作業の効率化を実現し、多品種少量生産が可能。



TOPICS

2

偏平形中空アクチュエータが「2008年“超”モノづくり部品大賞* 機械部品賞」を受賞

当社開発の「偏平形中空アクチュエータ」が、モノづくり推進会議／日刊工業新聞社主催の「“超”モノづくり部品大賞」を受賞しました。

本製品は、通常は組み合わせて使用する「サーボモータ、位置検出器、ギヤ、ブレーキ」を一体化したものです。これにより、容積は25%、全長は37%と大幅な小形化を実現し、ロボット関節部分の干渉を大幅に抑えた成果が高く評価されました。



*: この賞は、日本のモノづくりの再興と、産業・社会の発展に貢献することを目的として、縁の下の力持ちである部品・部材にスポットを当て表彰するものです。

TOPICS

3

SmartPal Vが「2008年度グッドデザイン賞」を受賞

サービスロボットSmartPal V（スマートパル ファイブ）が、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2008年度グッドデザイン賞」の新領域－先駆的、実験的なデザイン活動部門において「グッドデザイン賞」を受賞しました。

今回は、商品やサービスの受け手であるユーザーの立場を重視し、「近い将来の生活像や次代の暮らしを導くデザイン」という視点で審査が行われました。

今後とも社会のニーズに合致した人に優しい技術・製品を提供し続け、人々の豊かな暮らしに貢献することを目指してまいります。



表彰式



床に置かれた物を取る様子

TOPICS

4

オールデジタル方式ガルバノスキャナシステムの開発が 「第56回電気科学技術奨励賞*」を受賞

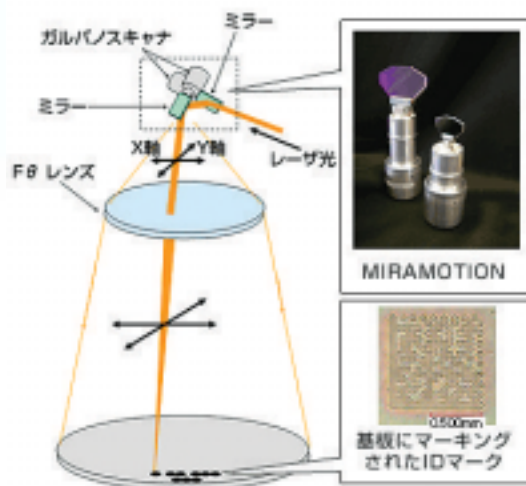
ガルバノスキャナシステムは、制御方法をアナログからデジタルにすることで、応答性を維持しながらメンテナンス性向上と温度による精度変化低減を実現したことが評価されました。

この技術を使った製品「MIRAMOTION (ミラモーション)」が(株)ワイ・イー・データからリリースされており、その用途は太陽電池のレーザ加工などへ拡大しています。

*: 広く日本の電気科学技術界にあって、永年の功績があるにもかかわらず、まだ表彰の機会に恵まれていない優秀な技術者、研究者を表彰するものです。



ガルバノスキャナとは?



レーザマーキング装置やレーザ加工機などにおいて、レーザを反射するミラー角度の高速・高精度な位置決めによりレーザ照射の微細な加工位置制御を行う製品です。その精度は、例えば東京タワーのてっぺんから地上にあるパチンコ玉に正確にレーザを当てるほどの緻密さが必要だと言われています。

TOPICS

5

東南アジア最大のASEAN国際見本市 「METALEX2008」に出展

タイ国安川電機 [YASKAWA ELECTRIC (THAILAND) CO., LTD.] は、昨年11月にタイの首都バンコクで開催された「METALEX2008」に出展しました。工作機械、溶接関連、金属加工の見本市としてはASEAN地域最大の展示会で、多くの新製品の実演展示を行いました。

ロボット関連では様々なMOTOMANを活用した各種作業の実演を行い、他にもインバータ+同期モータドライブによる省エネ実演展示を行いました。来場者の注目を集め、多くの引き合いもいただきました。今後もこの地域でNo.1の技術力&サポート力を発揮してまいります。



TOPICS

6

欧州市場で最も重要な産業見本市 「SPSショー」に出展

欧州安川電機 (YASKAWA ELECTRIC EUROPE GmbH) は、昨年11月にドイツのニュルンベルクで開催された「SPSショー」に出展しました。コンポーネントから統合システムまでをカバーする産業見本市で、出展社数1,400社、4万8千人以上の人々が来場されました。

当社は、「Master of Motion Control」というスローガンのもと、巨大なインバータとサーボモータの模型や獅子舞ロボット (MOTOMAN-IA20) を設置し、スクリーンを使って安川製品のグローバル生産台数をご紹介した展示は多くの注目を集めました。

新製品を多数使った実演展示により、既存・新規の両顧客層に対して、多くのビジネスコンタクトを獲得できました。今後の継続的なサポートを通じてお客様とよりよい関係を築き、シェア拡大に努めてまいります。



連結財務諸表（要約）

● 連結貸借対照表（平成21年3月20日現在）（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	169,073	流動負債	107,948
現金及び預金	10,794	支払手形及び買掛金	54,252
受取手形及び売掛金	88,136	短期借入金	27,609
たな卸資産	54,705	未払費用	16,473
繰延税金資産	4,374	役員賞与引当金	60
その他流動資産	12,104	その他流動負債	9,552
貸倒引当金	△ 1,041	固定負債	38,741
固定資産	80,037	長期借入金	5,285
有形固定資産	39,871	退職給付引当金	32,034
建物及び構築物	17,301	役員退職慰労引当金	266
機械装置及び運搬具	10,232	その他固定負債	1,155
土地	7,884	負債合計	146,689
その他有形固定資産	4,452	純資産の部	
無形固定資産	6,824	株主資本	102,369
のれん	1,401	資本金	23,062
ソフトウェア	4,360	資本剰余金	18,681
その他無形固定資産	1,063	利益剰余金	60,983
投資その他の資産	33,341	自己株式	△ 357
投資有価証券	15,403	評価・換算差額等	△ 5,301
長期貸付金	267	その他有価証券評価差額金	△ 113
繰延税金資産	13,235	繰延ヘッジ損益	△ 67
その他投資	5,558	為替換算調整勘定	△ 5,119
貸倒引当金	△ 1,122	少数株主持分	5,353
資産合計	249,111	純資産合計	102,421
		負債・純資産合計	249,111

● 連結損益計算書（単位：百万円）

自平成20年3月21日 至平成21年3月20日	
売上高	350,249
売上原価	258,541
売上総利益	91,708
販売費及び一般管理費	70,901
営業利益	20,806
営業外収益	1,631
受取利息及び配当金	517
持分法による投資利益	485
雑収入	628
営業外費用	2,413
支払利息	997
為替差損	670
雑支出	745
経常利益	20,024
特別利益	44
固定資産売却益	36
投資有価証券売却益	3
その他特別利益	4
特別損失	4,240
固定資産廃却損	212
投資有価証券評価損	2,221
減損損失	104
その他特別損失	1,702
税金等調整前当期純利益	15,827
法人税、住民税及び事業税	5,020
過年度未払法人税等戻入額	△ 214
法人税等調整額	4,160
少数株主利益	△ 32
当期純利益	6,892

● 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

自平成20年3月21日 至平成21年3月20日											
	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等				少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成20年3月20日残高	23,062	18,652	56,988	△ 359	98,343	1,607	△ 10	921	2,518	5,592	106,454
連結会計年度中の変動額											
剰 余 金 の 配 当			△ 2,897		△ 2,897						△ 2,897
当 期 純 利 益			6,892		6,892						6,892
自 己 株 式 の 取 得				△ 28	△ 28						△ 28
自 己 株 式 の 処 分		28		30	58						58
連結子会社増加による増加			425		425						425
持分法適用会社減少による減少			△ 425		△ 425						△ 425
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 1,720	△ 56	△ 6,041	△ 7,819	△ 239	△ 8,059
連結会計年度中の変動額合計	-	28	3,995	1	4,025	△ 1,720	△ 56	△ 6,041	△ 7,819	△ 239	△ 4,033
平成21年3月20日残高	23,062	18,681	60,983	△ 357	102,369	△ 113	△ 67	△ 5,119	△ 5,301	5,353	102,421

(注) 平成20年6月に第92期期末配当(1株につき5円)、同年12月に第93期中間配当(1株につき6円50銭)をお支払いいたしました。

連結財務諸表（要約）

● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

自平成20年3月21日 至平成21年3月20日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	15,827
減価償却費	8,028
減損損失	104
退職給付引当金の増減額	△ 1,448
投資有価証券売却益	△ 3
投資有価証券評価損	2,221
受取利息及び受取配当金	△ 517
支払利息	997
売上債権の増減額	21,990
たな卸資産の増減額	△ 630
仕入債務の増減額	△ 15,096
未払金の増減額	△ 714
その他	△ 3,106
小計	27,654
利息及び配当金の受取額	759
利息の支払額	△ 1,016
法人税等の支払額	△ 14,912
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,485

自平成20年3月21日 至平成21年3月20日	
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産等の取得による支出	△ 8,472
有形固定資産等の売却による収入	109
投資有価証券等の取得による支出	△ 2,033
投資有価証券等の売却による収入	8
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-
その他	△ 300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,687
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	4,820
長期借入による収入	944
長期借入金の返済による支出	△ 4,760
社債の償還による支出	-
配当金の支払額	△ 2,897
少数株主への配当金の支払額	△ 151
その他	△ 16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 971
現金及び現金同等物の増加額	△ 1,236
現金及び現金同等物の期首残高	11,864
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	1
現金及び現金同等物の期末残高	10,629

個別財務諸表（要約）

● 貸借対照表（平成21年3月20日現在）（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	91,569	流動負債	61,171
現金及び預金	4,800	支払手形	3,863
受取手形	3,859	買掛金	32,390
売掛金	43,291	短期借入金	7,700
製品	16,121	未払金	1,495
半製品	677	未払費用	8,480
原材料	3,977	前受金	999
仕掛品	3,172	預り金	6,006
前渡金	194	その他流動負債	236
繰延税金資産	1,864	固定負債	28,387
未収金	1,357	長期借入金	4,050
未収法人税等	2,953	退職給付引当金	23,837
短期貸付金	4,117	その他固定負債	500
その他流動資産	6,462		
貸倒引当金	△1,282	負債合計	89,559
固定資産	69,846	純資産の部	
有形固定資産	25,147	株主資本	71,933
建物	10,525	資本金	23,062
構築物	637	資本剰余金	18,493
機械装置	6,684	資本準備金	18,491
車輛運搬具	31	その他資本剰余金	2
工具	1,161	利益剰余金	30,651
器具及び備品	435	その他利益剰余金	30,651
土地	4,756	繰越利益剰余金	30,651
建設仮勘定	914	自己株式	△274
無形固定資産	4,958	評価・換算差額等	△76
施設利用権	2	その他有価証券評価差額金	△71
ソフトウェア	4,126	繰延ヘッジ損益	△4
その他無形固定資産	829		
投資その他の資産	39,740	純資産合計	71,857
投資有価証券	8,590	負債・純資産合計	161,416
関係会社株式	14,753		
出資金	1		
関係会社出資金	4,092		
長期貸付金	347		
繰延税金資産	10,523		
その他投資	2,361		
貸倒引当金	△928		
資産合計	161,416		

● 損益計算書（単位：百万円）

自平成20年3月21日 至平成21年3月20日	
売上高	188,185
売上原価	153,481
売上総利益	34,703
販売費及び一般管理費	32,042
営業利益	2,660
営業外収益	8,482
受取利息及び配当金	8,390
雑収入	91
営業外費用	1,362
支払利息	250
債権売却損	318
為替差損	743
雑支出	49
経常利益	9,780
特別利益	825
固定資産売却益	29
貸倒引当金戻入益	793
その他特別利益	3
特別損失	2,730
固定資産廃却損	110
投資有価証券評価損	2,091
その他特別損失	528
税引前当期純利益	7,875
法人税、住民税及び事業税	346
過年度未払法人税等戻入額	△214
法人税等調整額	1,272
当期純利益	6,471

第93期（自平成20年3月21日 至平成21年3月20日）配当について

中間配当	1株につき	6円50銭
期末配当	1株につき	6円50銭
年間	1株につき	13円

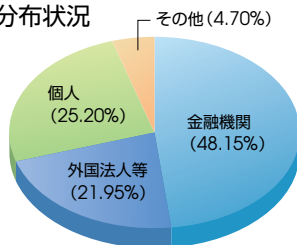
株式の状況 (平成21年3月20日現在)

発行可能株式総数 …………… 560,000 千株
 発行済株式の総数 …………… 252,331 千株
 株主数 …………… 27,150 名

主要大株主	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,174 千株	6.82%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	13,795 千株	5.47%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	10,662 千株	4.23%
株式会社みずほコーポレート銀行	9,473 千株	3.76%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.16%
明治安田生命保険相互会社	7,967 千株	3.16%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.53%
野村信託銀行株式会社(投信口)	5,817 千株	2.31%
日本生命保険相互会社	4,247 千株	1.69%
株式会社西日本シティ銀行	3,432 千株	1.36%

(注) 出資比率は、自己株式を控除して算定しております。

所有者別株式分布状況



当社株価の推移



(注) 東京証券取引所における月別の高値、安値を表示しています。

役員 (平成21年6月18日現在)

取締役会長	中山 眞
取締役社長	利島 康司
取締役副社長	武井 紘一
専務取締役	鬼頭 正雄
常務取締役	岩田 定廣
常務取締役	沢 俊裕
常務取締役	宇佐見 昇
常務取締役	津田 純嗣
取締役	深堀 慶憲
取締役	後藤 英樹
取締役	中村 公規
取締役	小笠原 浩
取締役	本松 修
取締役	村上 周二
取締役	南 善勝
監査役(常勤)	実松 敏文
監査役(常勤)	市川 学
監査役	江口 宏
監査役	三井 康誠

事業年度 毎年3月21日から
翌年3月20日まで

公告掲載新聞 日本経済新聞

上場金融商品取引所 東京・福岡

定時株主総会 6月

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

(配当金受領) 毎年3月20日(期末配当金)
株主確定日) 毎年9月20日(中間配当金)

お知らせ

郵便物送付先・電話お問い合わせ先等に関しましては、下記のとおりとなります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年6月にお支払いする配当金について株主様あてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなりました。

配当金を配当金領収証にて受取られる株主様は来年の確定申告手続きに合わせて平成21年末～平成22年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。(なお、口座振込を指定されている株主様は配当金をお受取の際に送付されている「配当金計算書」が「支払通知書」となりますので、引続き確定申告の際の添付資料としてご使用ください。)

ホームページのご案内

下記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。
<http://www.yaskawa.co.jp/>

会社の概要 (平成21年3月20日現在)

商号 株式会社 安川電機
英文社名 YASKAWA Electric Corporation
設立 大正4年7月16日
従業員 8,463名(連結) 2,831名(個別)
事業所 本社 〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号
電話(093)645-8801
東京支社 〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号
電話(03)5402-4502
名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号
電話(052)581-2761
大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号
電話(06)6346-4500
九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号
電話(092)714-5331
工場等 八幡西事業所・八幡東事業所・行橋事業所
入間事業所・小倉事業所

国内主要関連会社

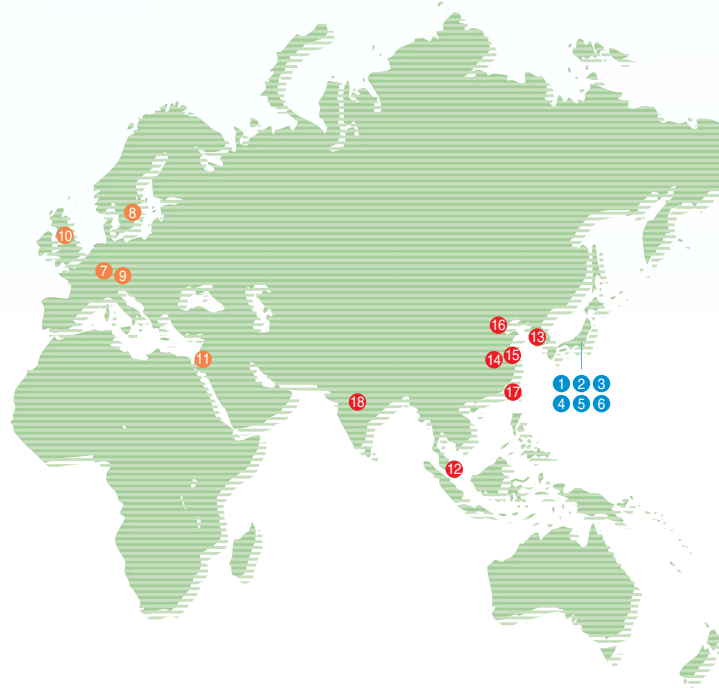
JAPAN

- 1 株式会社 ワイ・イー・データ
電算機周辺・端末機器の製造・販売ならびに
Ontrack(オントラック)データ復旧サービス
- 2 安川情報システム株式会社
計算処理受託・ソフトウェア開発ならびにシステム機器販売
- 3 安川コントロール株式会社
電気機械器具及びその部品の製造及び販売
- 4 安川エンジニアリング株式会社
電気機械設備の保全・整備及び技術指導
- 5 株式会社 安川ロジステック
製品の保管・輸送等の物流サービス
- 6 安川モートル株式会社
電動機、発電機及び電動機応用製品の設計・製造・販売

海外主要関連会社

EUROPE

- 7 YASKAWA ELECTRIC EUROPE GmbH (ドイツ)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- 8 MOTOMAN ROBOTICS EUROPE AB (スウェーデン)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- 9 MOTOMAN ROBOTEC GmbH (ドイツ)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- 10 YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)
インバータの製造・販売・サービス
- 11 YASKAWA EUROPE TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)
モーションコントロール製品の開発及び製造

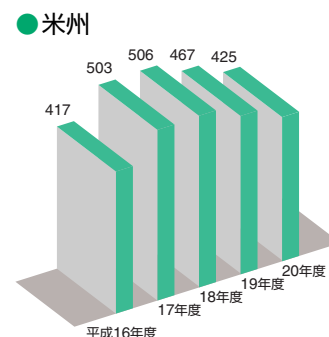
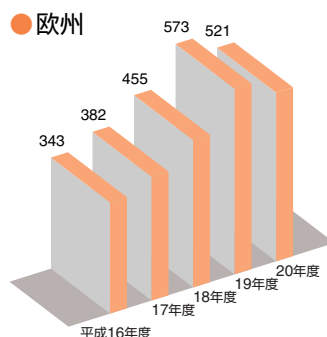
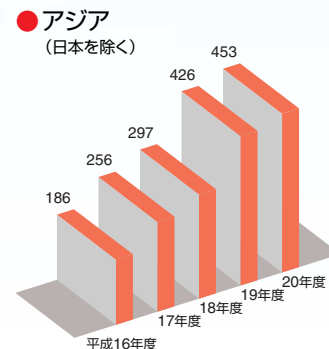
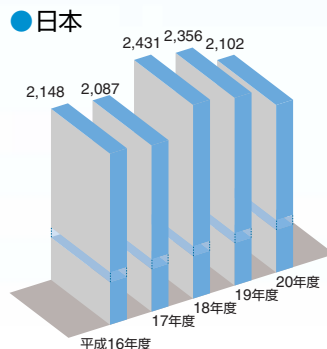


ASIA

- 12 YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)
電気機器の輸入・販売・サービス
- 13 YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)
電気機器の輸入・販売・サービス
- 14 YASKAWA ELECTRIC(SHANGHAI) CO., LTD. (中国)
電気機器の輸入・販売・サービス
- 15 SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD. (中国)
電気機器の製造・販売

会社所在地別・売上高の推移

単位:億円



ASIA

- ⑯ SHOUANG MOTOMAN ROBOT CO.,LTD. (中国)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- ⑰ YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)
電気機器の輸入・販売・サービス
- ⑱ MOTOMAN MOTHERSON ROBOTICS LTD. (インド)
ロボット及びロボットシステムの販売・サービス

AMERICA

- ⑰ YASKAWA ELECTRIC AMERICA INC. (アメリカ)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- ⑳ MOTOMAN INC. (アメリカ)
ロボット及びロボットシステムの製造・販売・サービス
- ㉑ YASKAWA MOTOMAN CANADA, LTD. (カナダ)
ロボット及びロボットシステムの販売・サービス
- ㉒ YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL LTDA. (ブラジル)
電気機器の輸入・製造・販売・サービス



YASKAWA



- 古紙を含んだ再生紙を使用しています。
- 環境にやさしい植物性大豆油を使用しています。